

全苗連だより

Vol. 62 (9月号)

令和元年9月27日

発行：全国山林種苗協同組合連合会

Tel.03-3262-3071 Fax.03-3262-3074

令和2年度林野庁予算概算要求が提出される(速報)

林野関係予算は、総額3,470億円で116.0%の伸び

林野庁は8月30日に、令和2年度予算概算要求を財務省へ提出しました。9月20日に開催された林業団体懇談会(日本林業協会主催)において、林野庁前島明成林政部長、小坂善太郎森林整備部長及び織田中央国有林野部長より講演がありましたのでそれも踏まえて予算概算要求の概要をお伝えします。

令和2年度林野関係予算は、総額3,470億円(令和元年度予算2,992億円、以下()は令和元年度当初予算)で対前年度比116.0%となっています。うち、公共事業費は2,331億円(対前年度比120.8%)、非公共事業費は1,139億円(対前年度比107.1%)となっています。予算の重点事項のテーマは『林業の成長産業化と「林業イノベーション」の推進』となっており、9の重点事項が示されています。

一番目に掲げられているのが、令和元年度に引き続き「①林業成長産業化総合対策」(非公共事業)で、総額は163億円(123億円)。新たな森林管理システムの下で森林の経営管理を担う意欲と能力のある林業経営者の育成や経営の集積・集約を進める地域への路網の整備、スマート林業・新素材開発等の「林業イノベーション」の推進に向けた取組、CLTを含めた木材の利用拡大等、川上から川下までの取組を総合的に支援することとしています。

以下に、主要な種苗生産に係る支援措置をピックアップします。

「①林業成長産業化総合対策」の中に「林業・木材産業成長産業化促進対策(拡充)」があり、**コンテナ苗生産施設や幼苗生産高度化施設等の整備**に対する支援の枠組みが位置づけられました。特に、「**コンテナ苗幼苗生産高度化施設の普及**」には、**種子選別機や環境制御室等の導入**がメニュー化されており、従来の「個々の苗木生産者が種子から苗木を作る」体制に加え、「**発芽から幼苗までを協同組合組織等が担い、その後の育苗を生産者が行う**」分業を推進し、効率的な種苗生産システムを構築することが期待されています。

「①林業成長産業化総合対策」の中には、もう一つの柱である「林業イノベーション推進総合対策(新規)」がありますが、種苗生産に係るものとして「**早生樹等優良種苗生産推進対策**」(令和2年度要求額;200,335千円)が新たに要求されました。具体的には、**優良種穂の確保と優良苗木の供給拡大**の2項目があり、

【優良種穂の確保】

① 早生樹母樹林の保全・整備(新規)

・国内に現存する優良林分の母樹林指定、整備、種穂の採取等の取組を支援。

② 採種園等の有効活用(拡充)

- ・早生樹等のモデル的な採種園の母樹を若返らせる対策等を支援。

③ 原種増産技術の開発(拡充)

- ・成長の優れた花粉症対策苗木の原種増産技術の開発等を支援

【優良苗木の供給拡大】

④ 苗木被害の早期診断等(拡充)

- ・近年、高温や病害虫の蔓延等による苗木の生育障害が発生していることから、苗木被害の早期診断と確実な防除のための取組を支援。

また、重点事項の⑦に「花粉発生源対策推進事業」(総額1億円(1億円))が今年度に引き続き計上されています。

一方、林野一般公共事業費は2,229億円(1,827億円)で対前年度比122.0%となっています。このうち主伐後の再造林等を推進する森林整備事業費は1,489.7(1,221)億円で対前年度比122.0%となっています。林業の成長産業化と森林資源の適切な管理を実現するために重点事項の②に位置づけられており、予算の獲得を大いに期待したいと思います。

また、これまで我慢を強いられてきた林野関係予算を大幅に回復させることが何よりも不可欠なこととして、森林環境譲与税に加えて、当初予算についてもその時々々の経済状況等によって左右される補正予算に頼ることのない安定的かつ十分に確保されたものになるべく、自由民主党の林政対策委員会及び農林・食料戦略調査会並びに農林部会による決議がなされ、さらに森林整備・治山事業促進議員連盟による決議も行われ、農林水産大臣、二階幹事長、財務省への要望活動等が行われています。

全苗連・苗組の行事予定

～R2.3 ①コンテナ苗生産未経験者を対象とした研修会の実施 ②コンテナ苗生産に新規参入後、間もない事業者を対象とした研修会の実施 ③コンテナ苗生産経験者を対象とした巡回指導の実施 ④造林者等を対象としたコンテナ苗の植栽に関する研修会の実施 ⑤その他研修会の実施等 ⑥種苗の需給情報等を共有する取組
実施者;全苗連、都道府県苗組

9月5日 第5回全苗連生産者の集い(愛媛県 松山市総合コミュニティセンター)

～6日

9月10日 花粉発生源対策普及イベント(全林協)(愛媛県武道館)

9月20日 林業団体懇談会(日本林業協会)(永田町ビル)

9月27日 栃木県山林種苗緑化樹協同組合第71回通常総会(宇都宮市 ホテル丸治)

- 9月27日 大分県樹苗生産農業協同組合第65回通常総会(大分センチュリーホテル)
- 10月1日 第6回全苗連生産者の集い開催準備委員会(福島市「とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)」)
- 10月16日 第60回林政記者クラブ賞(グリーン賞)贈呈式(千代田区霞が関 商工会館)
- 10月17日 全国森林組合代表者大会(メルパルクホール東京)
- 10月30日 林業分野における外国人技能実習シンポジウム(愛媛県 松山市にぎたつ会館)
- 11月1日 花粉発生源対策普及イベント(全林協)(大分県森連)
- 11月6日 北海道・東北地区林業用種苗需給連絡協議会(秋田県 秋田地方総合庁舎)
～7日
- 11月11日 コンテナ苗生産技術等検討委員会(第2回)(日本森林技術協会)
- 11月12日 全苗連関東地区協議会(群馬県庁昭和庁舎)
- 11月13日 花粉発生源対策普及イベント(全林協)(宮城県)
- 11月14日 九州地区林業用種苗需給連絡協議会(熊本県 熊本テルサ)
～15日
- 11月18日 花粉発生源対策普及イベント(全林協)(岐阜県)
- 11月21日 近畿地区林業用種苗需給連絡協議会(京都府庁)
～22日
- 11月28日 中国地区林業用種苗需給連絡協議会(島根県庁)
～29日
- 12月12日 東海・北陸地区林業用種苗需給連絡協議会(長野県)
- 12月15日 全国育樹祭(沖縄県)
- 12月19日 四国地区林業用種苗需給連絡協議会(香川県 サンポートホール高松)
～20日
- 12月21日 花粉発生源対策普及シンポジウム2019(全林協)(大阪府)
- 令和2年
- 1月17日 関東地区林業用種苗需給連絡協議会(静岡県)
- 1月30日 当年生苗導入調査委託事業第2回検討委員会(日林協会館)
- 5月12日 令和2年度全苗連理事会(ホテルメトロポリタン エドモント飯田橋)
- 5月22日 令和2年度全苗連通常総会(ホテルメトロポリタン エドモント飯田橋)